

C-02.

センサー側の連携設定

【手順 2】

センサーから「アクト・アップ」にデータを送る設定を行います。

IoTストアで購入したセンサーはこの手順をスキップ(省略)出来ます。

Step
1

Webhook URLをコピーする

センサーデバイス側に「アクト・アップ」にデータを送るための設定を行います。

- 1 「接続センサー一覧」画面を開き、作成したセンサー(コネクト)を選択し
- 2 Webhook URLの「コピー」をタップします。



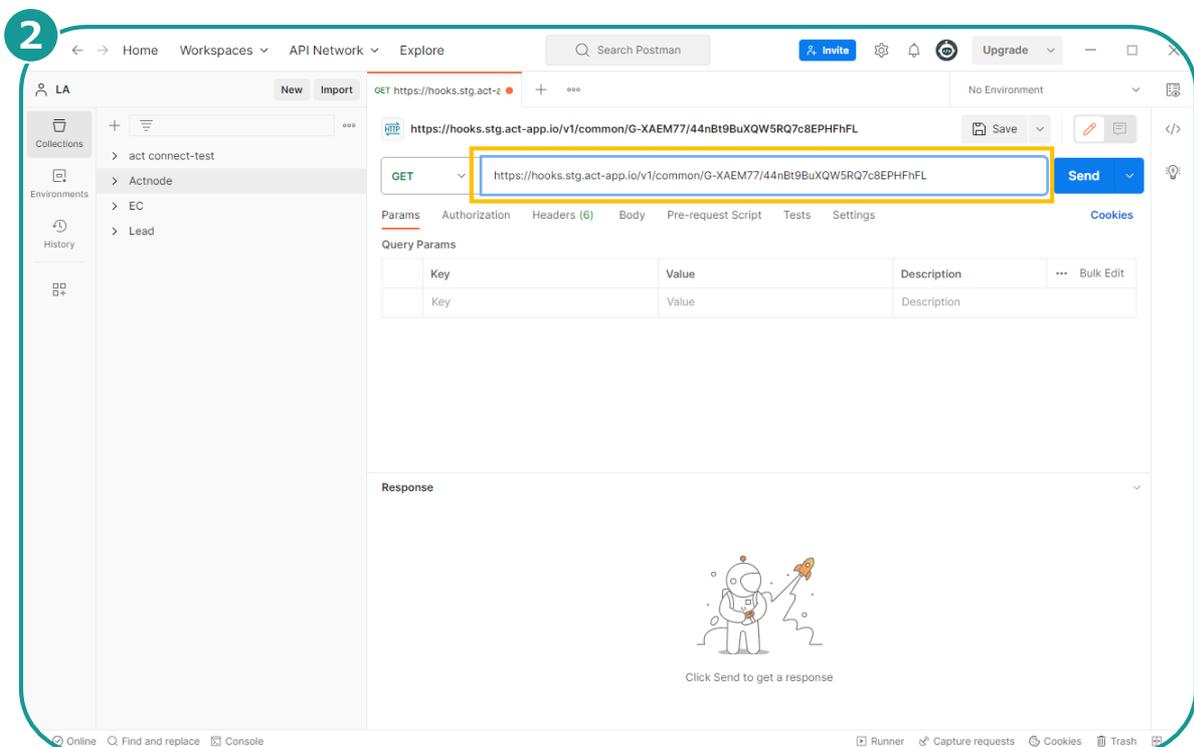
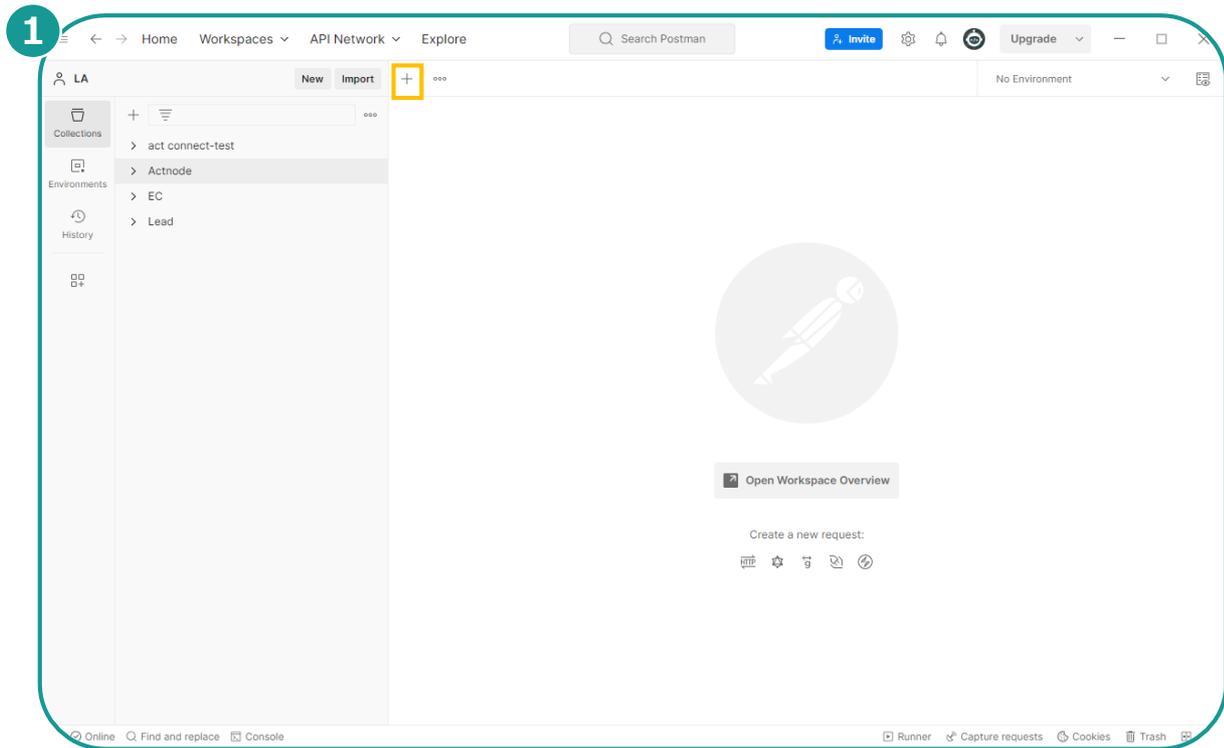
▶ 次のページへ続く

Step 2

センサーのデータ送信先にWebhook URLを設定する

ここでは参考としてPostmanを使用してWebhook URLにデータを送信する方法を紹介します。
センサーからデータを送る場合は、それぞれのセンサーの仕組みに合わせて同様の設定を行ってください。

- 1 Postmanを開き、リクエスト新規作成を選択します。
- 2 ステップ1でコピーしたURLを貼り付けます。

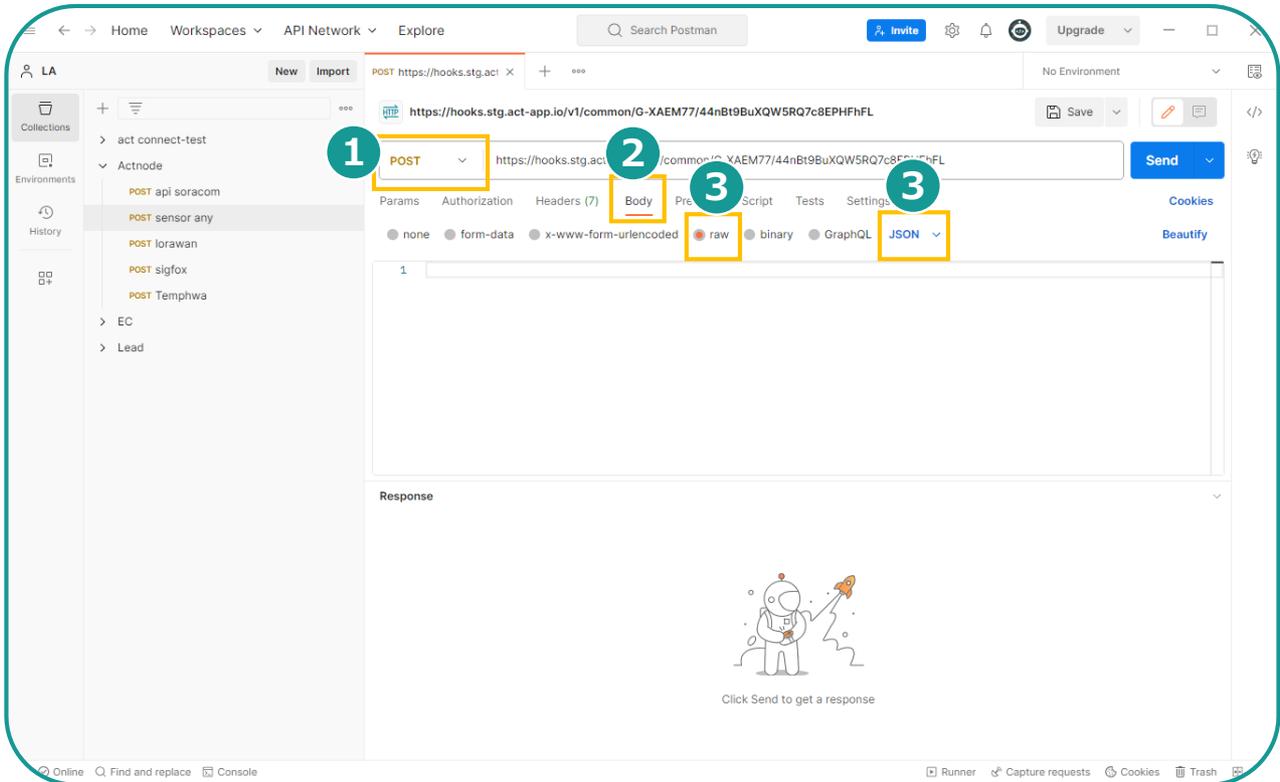


▶ 次のページへ続く

Step 3

送信方式(POST)と送信方法を設定する

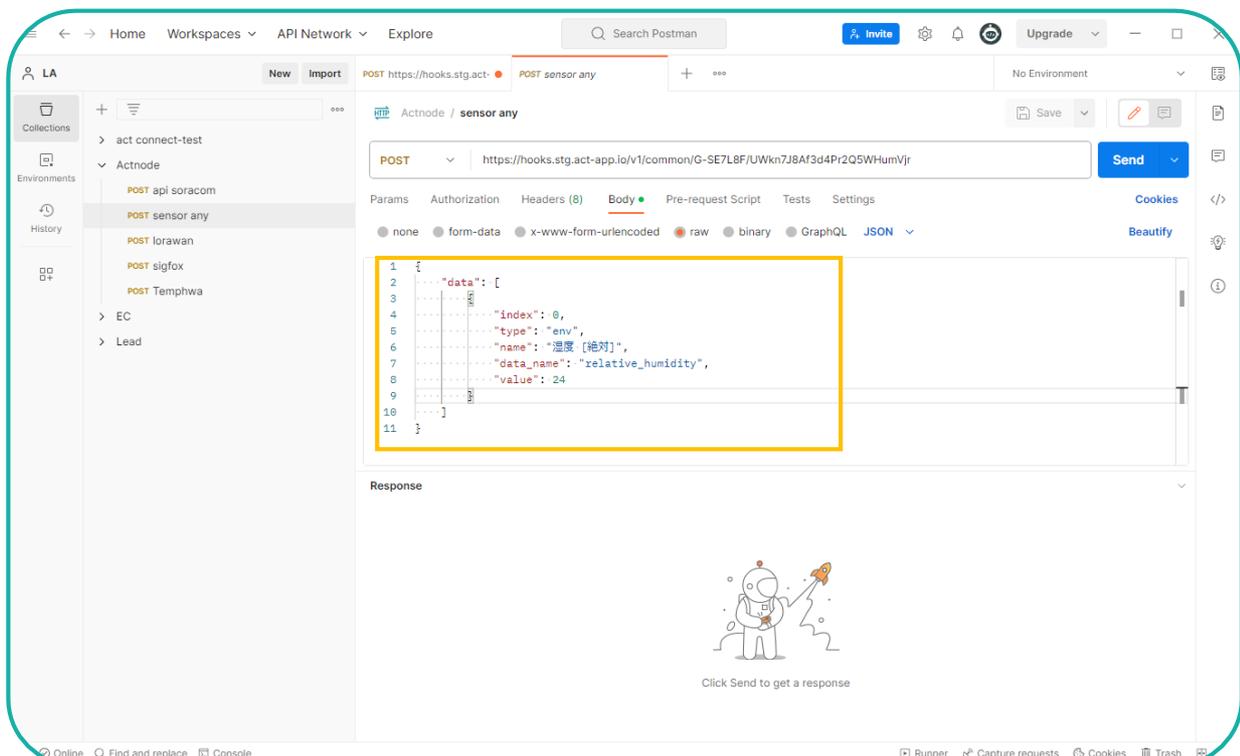
- 1 「Post」 を選択します。
- 2 [Body]タブを選択します。
- 3 [raw]、[JSON]をタップします。



Step 4

送信データの「Body」にデータ (JSON) を入力する

- 1 データを入力します。
※ 入力するJSONのフォーマットは次ページの接続APIの仕様を参照ください。



▶ 次のページへ続く



「アクト・アップ」クラウドのセンサー接続APIの仕様

Webhookに送信するデータ(JSON)の仕様はこちらのサイトに公開されています。
<https://act-node.github.io/act-api-open/>

送信データ(JSON)のサンプルデータをコピーして、センサーで送りたいデータに合わせて内容を編集してください。

Step 5

リクエストを送信する

1 [Send]をタップします。

▶ 次のページへ続く

Step
6

アクト・アップでセンサーデータの受信を確認する

STEP1で使用した「アクト・アップ」の画面に戻ります。

- ① [🔄]アイコンをタップします。
- ② 接続状況を確認します。
センサーデータを受信するとステータスが「センサー接続待」から「センサー接続済み」に変わります。



▶ 【手順2】センサー側の連携設定 はここまで